

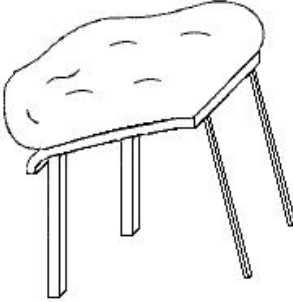

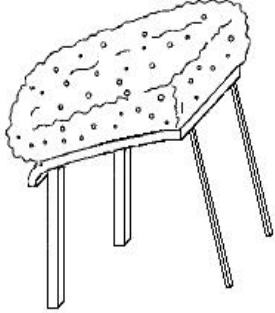
# エクステリア製品の 豆知識

## Contents

- 1.雪おろしの目安
- 2.「サンルーム」と「囲い商品」との違いについて
- 3.ガス給湯器などからの排気ガスによる腐食
- 4.格子の音鳴り現象について
- 5.屋根ふき材の音鳴り現象について
- 6.木材・プラスチック再生複合材について
- 7.台風や暴風雨時の備え

## 1 . 雪おろしの目安

雪おろしの目安の積雪量であっても商品が破損する場合があります。  
雪の重さは積雪量 1 cm 当たり 3kgf/m<sup>2</sup>で設計していますが、雪の状態により大きく変化します。

しんせつ 新雪	しまりゆき 締雪	ざらめ ゆき 粗目雪
		
降り積もったばかりの雪	積雪の重みで圧縮された雪	一度解けて再度凍って細かな氷の粒が集まった雪
雪比重：約 0 . 3 1 cm 当たり約 3kgf/m <sup>2</sup>	雪比重：約 0 . 5 1 cm 当たり約 5kgf/m <sup>2</sup>	雪比重：約 0 . 7 1 cm 当たり約 7kgf/m <sup>2</sup>

積雪については、雪の種類に従い早めの雪おろしをお願いいたします。  
雪下ろしの際は、足場のしっかりした脚立や踏み台の上で雪下ろしをしてください。

また、商品ごとに耐えうる積雪量が異なります。商品に貼ってあるラベルに記載された数値を確認してください。

### 【雪下ろしの目安】

ラベル表示 積雪量	新雪 雪比重：約 0 . 3	締雪 雪比重：約 0 . 5	粗目雪 雪比重：約 0 . 7
20cm [ 60kgf/m <sup>2</sup> ]	20cm	12cm	8cm
50cm [ 150kgf/m <sup>2</sup> ]	50cm	30cm	21cm
100cm [ 300kgf/m <sup>2</sup> ]	100cm	60cm	42cm
150cm [ 450kgf/m <sup>2</sup> ]	150cm	90cm	64cm

・数値はおよその目安です。

## 2 . 「サンルーム」と「囲い商品」との違いについて

「サンルーム」とは「日光を多く取り込めるように、屋根などをガラス張りして造った部屋」ですが、「囲い商品」はテラス屋根やバルコニー屋根の前面、側面から著しく風雨が吹き込まないよう簡易的に覆ったもので、「サンルーム」とあまりかわらない外観になっております。

しかしながら、「サンルーム」は旧建築基準法の第 3 8 条で定められた認定を取得しており、居室での使用が可能な程度の水密・気密性があると認められた商品です。

一方、「囲い商品」は「サンルーム」と同等の水密・気密性はありません。

商品保証に関しても「サンルーム」は居室で使用することのことで、雨水浸入に対して「住宅新築時に取付けられた場合、柱、屋根などの主要構造部分の不具合およびサンルーム本体からの雨水浸入については 1 0 年間。又、住宅新築時以外に取付けた場合、サンルーム本体からの雨水浸入についてはのみ 1 0 年間」の商品保証が義務付けられておりますが、「囲い商品」は「サンルーム」のような商品保証の義務付けはなく、一般エクステリア商品と同様の 2 年間の商品保証です。

「サンルーム」は囲い商品より雨水浸入に対して対策が取られていますが、より安全にお使いいただくために、囲い商品も含め保守点検をお願いします。

### 3 . ガス給湯器などからの排気ガスによる腐食

塗膜の剥がれなどの表面異常は、ガス給湯器などからの排気ガスが原因になっていることがあります。

ガス給湯器などの排気ガスの成分には、微量ながら硫黄分が含まれている場合があります、この硫黄分が空気中や排気ガスの水分と化学反応を起こして、亜硫酸、硫酸のような強い腐食性の酸を作ることがあります。これらの酸が塗膜表面に付着し、長期間のうちに塗膜自体を劣化させ、塗膜の下に浸入し、アルミと化学反応を起こすことによって塗膜剥がれなどの表面異常の原因となる場合があります。

ガス給湯器および車の排気ガスが直接アルミに当たらないようご注意ください。

また、直接ではなくても、周辺の通気が悪く、排気ガスが滞留するような場所にアルミを使用した場合でも塗膜の剥がれなどの表面異常が発生する場合があります。

排気口近くにアルミを設置する場合は、排気ガスが直接当たらないようにしていただくか、こまめにお手入れしていただくとともに周辺の通気を確認した上でご使用をお願いいたします。



### 4 . 格子の音鳴り現象について

強風や季節風が吹いたときに、ごくまれにバルコニーなどに付いている格子が音鳴りすることがあります。原因として、格子の間を風が通り抜ける際に、格子が振動し共鳴を起こすことにより、振動が増幅し音鳴りが発生すると考えられています。

この現象が起こる条件は、気候、風の向きや強さ、設置場所などが複雑に絡み合い起こるため、風の向きや強さが同じでも、音鳴りが起こらないこともあります。

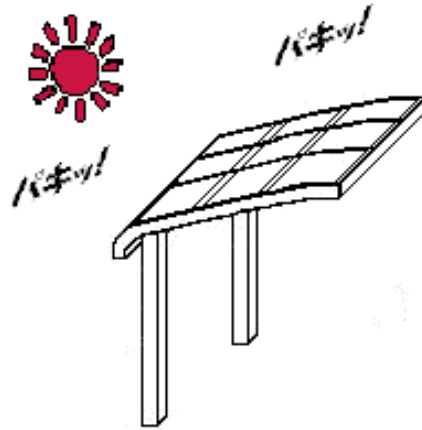
風が弱まるか風の方が変化すれば、音鳴りは自然に治まります。



## 5 . 屋根ふき材の音鳴り現象について

エクステリア商品は屋外に取付けられているため、屋根ふき材は太陽光を直接受けています。屋根ふき材が太陽光の熱により膨張し、膨れたりこすれたりすることで異音が発生することがまれにあります。この現象は、気温、立地条件、季節、使用材料など複合的な要素により発生する不可抗力的現象であり、商品の不具合によるものではありませんことをご了承ください。

また、太陽光による異音は、日が陰ることで自然に治まります。



## 6 . 木材・プラスチック再生複合材について

木材・プラスチック再生複合材は、天然の木粉とプラスチックを主原料にした環境に優しい素材です。各メーカーより「人工木材」とか「再生木材」等で表記されて、天然木材の代わりに使用されております。

木材・プラスチック再生複合材は、天然木に比べ耐候性、耐腐朽性が優れている商品ですが、紫外線等により変色することがあります。

使用環境によって色の変化の度合いも異なりますが、表層部のみの変化ですので強度にほとんど影響はなく、変化した表層部をやすりで少し削れば元の色合いに戻ります。

また、木材・プラスチック再生複合材のメンテナンスは、天然木より容易になっておりますが、定期的なメンテナンスが不要な商品ではありません。表面に付着した汚れやしみは、長時間放置しておきますと、木粉に含まれる成分と関係し頑固な汚れや黒い斑点(カビ等)の原因となりますので、早期のお手入れをお願いします。

お手入れ方法に関して、各社のカタログやホームページをご覧ください。

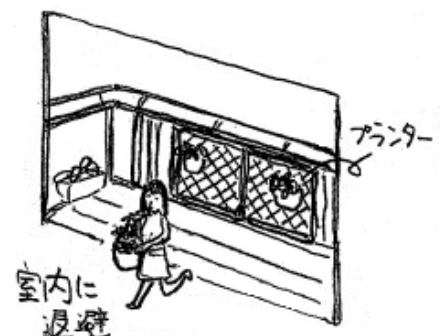
## 7 . 台風や暴風雨時の備え

エクステリア製品は、通常の風雨に耐えますが、台風や暴風雨時の前にはご面倒でもより一層の安全確保と被害を小さくするために、気象情報に注意し、次のような備えをお願いします。

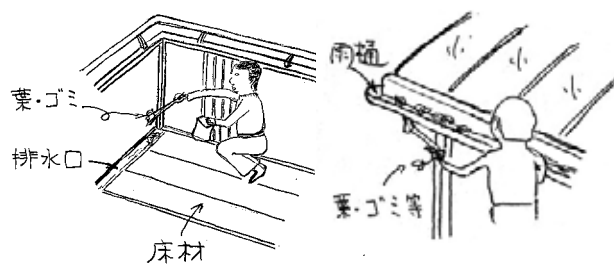
### バルコニー・カーポート・テラス

風に飛ばされそうな物は室内に入れておきましょう。

(例えば植木鉢など)

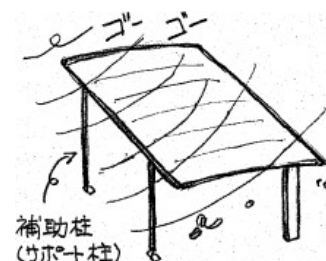


バルコニーの排水溝やカーポート、テラスの雨樋は、きれいに清掃しておきましょう。ゴミや落ち葉などが詰まっていると雨水があふれ出ることがあります。



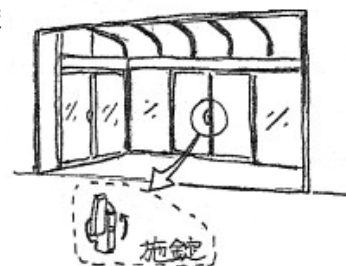
カーポートの補助柱をお持ちの方は、破損防止のために、必ずセッティングしておきましょう。

カーポートやテラスの屋根パネルが飛散する場合があります。屋根パネルの飛散防止策については、取扱店にご相談ください。



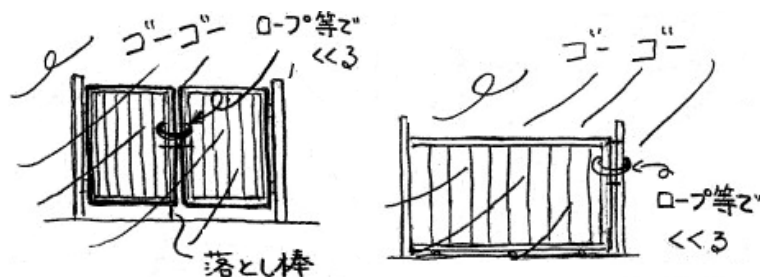
### サンルーム・テラス囲い

風にあおられないように窓やドアは、確実にロックしておきましょう。雨樋は、きれいに清掃しておきましょう。

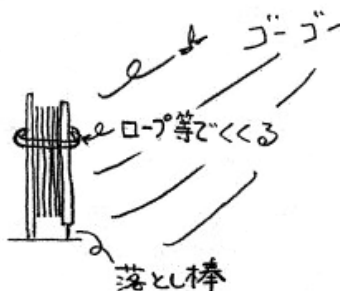


### 門扉

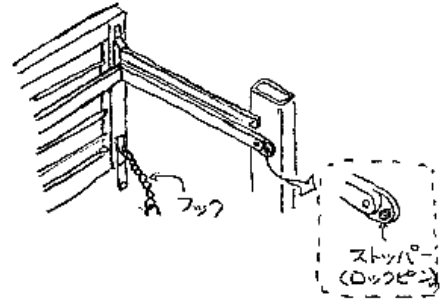
開き門扉や引戸門扉は、破損防止のため錠や落とし棒をかけた状態にしてロープ等で錠付近を固定しておきましょう。



伸縮門扉は、縮めた状態にしてロープ等で固定しておきましょう。



はね上げ門扉は、扉本体を下ろした状態にして  
ストッパーあるいはフックを掛けておきましょう。



## 台風や暴風雨が過ぎたあとに・・・

台風や暴風雨が過ぎたあとに、エクステリア製品が損傷している場合があります。  
下記の項目について不具合がないか点検をお願いします。

**点検時は、安全に十分注意してください。**

### 点検項目

- ・ 排水溝や雨樋にゴミや落ち葉がたまっていませんか。
- ・ 屋根パネルのはずれおよび破損はありませんか。
- ・ ねじや部品のはずれ・ゆるみはありませんか。
- ・ 今まで通りスムーズな開閉ができますか。

上記のような現象がありましたら、すみやかに**修繕**又は**お掃除**をお願いします。